

第495回 (3月定例) 福崎町議会

福崎町長 尾崎吉晴

皆さんおはようございます。第495回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

令和3年3月議会の開会にあたりご挨拶申し上げます。

今年に入り、厳しい寒さの日が続きましたが、2月中旬になりますとようやく寒さも和らぎ、日差しの中にも温かさが感じられるようになってきました。これから、春寒も次第に緩み、桜の季節を迎えることとなりますが、本格的な春の訪れを楽しみにしています。

昨年の3月議会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、議会の日程を変更していただくなど、配慮をした中での議会開催であったと記憶しています。その後は、4月に新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出され、一旦は収まったかに見えたのですが、その後、第2波、第3波と後になるほど感染者数が増加し、大きな波となりました。そして、今年に入り再び緊急事態宣言が発出されました。ここにきてようやくその効果が現れてきたようで、感染者数は確かに減少はしてきましたが、そのペースは鈍くなっているようにもみえます。2月28日をもって兵庫県を含む6府県の緊急事態宣言は解除されましたが、ここで気を緩めると元の木阿弥となりかねません。今が正念場ではないかと思っています。

住民の皆さんにはこの1年間大変ご苦勞をおかけしました。日常生活での不要不急の外出自粛が要請され、マスク、消毒液も一時期はなかなか手に入りませんでした。学校も休業を余儀なくされました。事業者の皆さんには休業や営業時間の短縮に協力をしていただきました。また、医療・介護従事者の皆さんは、感染リスクと闘いながら年末年始も関係なく、患者や利用者と向き合ってくださいました。みなさんの協力によって乗り切ることができた一年だったと感謝しています。

国、県、町では、それぞれの役割の中でコロナ対策の取り組みを進めてきました。福崎町が主体となり既に実施済み、または実施中、そしてこれから実施する予定の新型コロナウイルス感染症対策事業は、令和2年度総額で約5億800万円になります。個人や、事業者への給付事業につきましては、すべての対象者にいきわたるように引き続き取り組みを続けます。

一方で、ようやく新型コロナウイルスワクチンの接種事業が始まりました。本町におきましては健康福祉課を中心に、全庁挙げて取りくむべく準備を進めています。まず、医療従事者の方、次に4月下旬から高齢者に接種をしていただく予定としています。今回のワクチンは一定期間を空けて2回の接種が必要となります。対象者は16歳以上となっていますので、対象者全員に接種するには相当な時間がかかります。令和3年度の中で最も緊急かつ重要な事業の一つでありますので郡の医師会ともしっかりと連携を図り、全力で取り組んでまいります。

さて、去る1月18日に召集された第204回通常国会において、菅内閣総理大臣の施政方針演説が行われました。その中で、私が町との関連が深く特に重要だと考えることについて、思いを述べさせていただきます。

一つ目は「新型コロナウイルス対策」であります。このことは先ほど触れました。

二つ目は、「我が国の長年の課題に答えを」であります。菅総理は、次の成長の原動力はグリーン社会の実現とデジタル改革だと述べています。まず2050年カーボンニュートラルの宣言です。二酸化炭素の排出と吸収が、プラスマイナスゼロとなるような社会をつくるということです。このことは口約束ではなく必ず達成すべきであります。近年の集中豪雨の頻発化、台風の大型化の大きな原因は、温室効果ガスによる地球温暖化によるものであることは疑う余地はないと思います。温室効果ガスを全体としてゼロとし、将来を担う子どもたちに住みよい環境を残すことは、私たち大人の責務であります。今議会には、中播北部行政事務組合へ加入する議案を提出しています。神崎郡3町で建設するごみ処理施設についても、地球温暖化防止に寄与するような施設であるべきだと考えており、このことは組合に伝えていきたいと思っています。

デジタル改革については、今年の秋にデジタル庁が創設されます。全国規模のクラウド移行に向け、今後5年間で自治体のシステムも統一、標準化を進め業務の効率化と住民サービスの向上を図ることとしています。本町におきましても電子決裁への取り組みを進め、ペーパーレス化を図ります。また、住民からの届け出、申請に関しても押印見直しを進めます。

三つめは、「地方への人の流れをつくる」であります。東京一極集中の是正、地方の活性化は長年叫ばれてきた課題です。この課題解決のために、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を各市町が策定し取り組みを進めてきましたが、その効果が現れてきているとはとても言える状況ではありません。けれども東京圏と言われる1都3県の消費額は全国の3割に過ぎません。残りの7割の消費は地方ですので、地方が元気にならなければ

日本全体が元気になりません。その起爆剤が農業と観光だと菅総理は述べています。我が国の農産品はアジアを中心に諸外国で大変人気がありますので、我が国の農業に大きな可能性があることは間違いないと思っています。観光も同様であります。我が国には外国から見て魅力ある「自然、気候、文化、食」が揃っています。日本の日常が外国人には珍しく、興味があり、それらを体験したいようであります。また、日本国内からお客様を迎えることも大事です。その地域でしかできない体験を求める旅は、国内旅行者にも人気となっていますので、地域の魅力を発信していかなければなりません。

今は、農業と観光が福崎町を支える産業とまではいきませんが、将来はわが町の面白い存在になる要素は十分にあると思っています。

その他にも「少子化対策と社会保障の将来」などに触れられていますが、国・県の動向に注視しながら町政に取り組みます。

さて、本議会に提出する令和3年度予算は、第5次総合計画の実現と福崎町総合戦略の取組みを進めるとともに、行政改革の不断の取組みにより、人口減少・少子高齢社会であっても「創意と工夫で輝くまち」を築いていくための予算となるよう編成しています。

一般会計予算の総額は82億6,300万円で、対前年度比1,700万円、率にして0.2%の減となりました。特別会計を合わせた総額は、対前年度比12億1,440万円、率にして7.6%の増となる171億3,000万円を計上しております。

各課が取り組む主な事業は次のとおりです。

【総務課】

町制施行65周年を迎えます。先人の功績に感謝するとともに、町政のさらなる発展を願い記念事業を展開します。5月3日には記念式典、8月29日には夏期巡回ラジオ体操を行います。

任期満了に伴う、福崎町議会議員選挙を執行します。また、兵庫県知事選挙、衆議院議員総選挙が実施されます。いずれも大切な選挙です。正確で公平・公正な執行を図ります。

職員のモチベーションを上げるため、人事評価に基づく給与等への反映をより一層推進します。また、会計年度任用職員についても能力評価を実施し、次期更新時にその評価を参考とします。

友好都市岩手県遠野市との交流事業については、遠野市の産業まつり及び福崎秋まつ

りにおいて、それぞれの特産物の販売を行い、文化、教育、観光など絶えない交流を継続し友好の絆を深めていきます。

【企画財政課】

令和3年度の本町の予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響による町税等の減収や地方債の元金償還額の大幅な増加を踏まえ、重点事業・新規事業を除く予算規模の圧縮や歳出削減をしつつ、第5次総合計画の実現と、福崎町総合戦略の取り組みを進めるとともに、創意と工夫で輝く町を実現することを基本に予算編成を行いました。

健全な財政運営について、各種事業を進める一方で、中長期的な見通しを念頭に置きながら、第6次行政改革実施計画に沿って改革に取り組みます。

【税務課】

貴重な自主財源である町税において、税目ごとの課税客体的確な把握と課税に努めます。

あわせて、国税徴収法・地方税法・町税条例並びに債権管理条例などの規定に基づき、適正な滞納整理、債権管理を行うことにより徴収率の一層の向上を目指します。

要望が多かった納税環境の整備では、令和3年5月からのコンビニエンスストアでの納付や、スマホアプリを使った決済を導入することで、納税者への利便性向上を図ります。

【地域振興課】

自立（律）のまちづくり交付金事業は、第3期の3年目となります。引き続き参画と協働で進める地域の環境保全・防災・福祉活動など、自立に向けた集落活動を支援していきます。

観光振興では、両観光交流センターの賑わいづくりに努めます。妖怪ベンチの増設や4月稼働開始予定の観光アプリを活用した誘客、周遊観光の促進を図ります。

また、辻川山公園のガジロウ効果などで増加する観光客に対応するため、新たな駐車場を整備し来訪者の利便性の向上に努めます。

【住民生活課】

マイナンバーカードの取得促進を図るため、引き続き写真撮影の無料サービスや休日

受付窓口の開設を行います。

通学路の安全性の向上や防犯対策として防犯灯を設置するほか、凍結防止ミラーの設置や通学路にグリーンベルトを設置するなど、児童生徒の通学の安全確保に努めます。

ごみ処理については、くれさかクリーンセンターでは、令和3年度末の廃炉に向け、中継施設整備工事を実施します。神崎郡3町で取り組む次期ごみ処理施設については、建設候補地が決定しましたので、施設整備基本計画の策定、測量・地質調査、生活環境影響調査等にとりかかり、着実に事業を進めます。

防災対策について、近年の自然災害を踏まえ、防災力強化と減災を図るため、防災資機材の充実や自主防災組織の育成強化に努めます。

【健康福祉課】

コミュニティバス事業については、かねてから住民要望の強かった加西市方面への運行を、火曜日、木曜日の週2回実施します。また、市川町との連携バスについては、定時定路線型運行から全域デマンド型運行に移行します。

妊婦が安心して妊娠期を過ごし、陣痛や急に体調不良などにより受診が必要となった際に、安全で速やかに受診することが出来るよう、「マタニティータクシー事業」を実施します。

「第3次食育推進計画・健康増進計画・第2次自殺対策計画」については、昨年度に引き続き策定に取り組みます。

住民の健康寿命の延伸を図るため、40歳以上対象の保健事業と65歳以上の介護予防事業を一体的に実施します。具体的には、国保データベースシステムを活用し、低栄養、健康状態不明者などのハイリスク高齢者への個別的支援や、地域ふくろうの会など通いの場でのフレイル予防の普及啓発を行います。

【農林振興課】

農業委員会では、許認可業務の他、農地利用最適化推進業務を通じ、耕作放棄地対策や担い手への農地の利用集積を進めます。

各集落において、5年後、10年後の地域の農業がどうあるべきか、地域の皆様で考え取り組んでいただく「人・農地プラン」の策定をさらに推進します。

福崎町特産のもち麦については、もち麦産地振興協議会が大学との連携などを通して、もち麦の健康機能性を活かしたブランド戦略を進めます。

農地基盤整備では、工事中の高岡福田ほ場整備事業に加え、山崎地区ほ場整備事業に

についても、更なる推進を図ります。

ため池整備事業では、決壊防止対策として、三谷池の本体工事を進めます。また、直谷池についても、事業化に向け取組を進めます。

【まちづくり課】

道路整備では、各集落内の道路の改修や通行に支障をきたす危険箇所の解消に向けて整備を進めていきます。

国の交付金事業を活用し、福崎駅田原線の延伸工事並びに千束新町線改良工事に着手します。また、西治長野線などの舗装修繕を行います。

道路照明のLED化、信号交差点への地名表示などにも計画的に取り組めます。

河川整備事業では、県と協力しながら、市川、七種川の草刈りなど環境整備を行うほか、国の緊急浚渫推進事業を活用し、直谷川や大内川などの堆積土砂の浚渫などを実施します。

まちづくり事業では、JR西日本が実施する、福崎駅のバリアフリー事業に対し、補助を行います。

空き家対策については、「空き家等情報バンク」への登録をPRし空き家の利活用を図ります。また、空き家等対策審議会と協議しながら、特定空き家に対し指導・助言・勧告等を行います。

【上下水道課】

水道事業では、老朽化した西谷地区の配水管更新工事、工業団地配水池と加圧ポンプ所の監視制御装置更新工事を実施します。また、前年度に実施しました東部工業団地配水池送水管更新工事跡の舗装本復旧を行います。

下水道事業では、公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、福崎浄化センターの膜カートリッジ更新工事やマンホールポンプの通信装置改築工事を実施します。また、雨水幹線整備事業につきましては、川すそ雨水幹線及び直谷第2雨水幹線工事を進めて行きます。

【工業団地整備室】

現在進めています東部工業団地造成工事の用地売却を行い、企業立地による産業の活性化を図ります。

【学校教育課】

「福崎町学校施設等長寿命化計画」に基づく福崎小学校北校舎の長寿命化改良工事を継続して行います。また、全ての学校で、児童生徒が快適な学校生活を送ることができるよう、洋式トイレの整備を進めます。令和4年の完成をめざし、令和3年度は設計に取りかかります。

文部科学省の「GIGAスクール構想」で整備した校内のWi-Fi環境と児童生徒1人1台端末を使い、授業支援ソフトを有効に活用しながら新しい時代の学校教育を推進します。

英語力をしっかりと身につけてもらうことを目的に、中学校3年生を対象に英語検定の受検者に補助金を支給します。

友好都市遠野市へ福崎町内小学生が訪問し、「日本民俗学の父柳田國男」を軸とした児童交流を引き続き実施します。

【社会教育課】

第42回山桃忌は、『柳田國男と「海上の道」』をテーマに、講演会やシンポジウムを行うほか、沖縄の民俗芸能を上演し、『柳田國男生誕の地 福崎町』を広く発信します。

柳田國男・松岡家記念館では、松岡映丘生誕140年に向け、2回の画稿展を開催、また、資料調査・整理作業を進めます。

大庄屋三木家住宅では、令和2年度に整備した展示兼収蔵施設において、貴重な資料を公開・活用するとともに、副屋を地域に親しまれる宿泊・飲食施設として活用することにより、文化財を地域総がかりで継承する仕組みづくりに取り組みます。

エルデホールでは、老朽化に伴う調光装置の更新とLED化を推進し、地域の文化振興・芸術創造の機会提供を担う施設として、自主公演の企画・運営に努めます。

野外活動センターでは、引き続き照明設備のLED化に取り組み、安全・快適な施設管理に努めます。

さて、今議会に提出した議案は26件です。

(略)

以上、人事案件が2件、条例制定が1件、条例改正が5件、計画策定が2件、予算で補正予算、当初予算あわせて14件、その他2件の全26件となっています。

詳細説明は、副町長、担当課長が行いますのでご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます。